

ヒルダ・パラフォックス展覧会「メキシコから日本へ：11864 キロの旅」が開幕

東京、2018年5月31日

日本メキシコ外交関係樹立 130 周年の一環として、カルロス・アルマーダ駐日メキシコ大使ならびにインスティトゥト・セルバンテス東京ビクトル・ウガルテ・ファレロンス館長らにより、メキシコ人アーティストのヒルダ・パラフォックス展覧会「メキシコから日本へ：11864 キロの旅」が 5 月 30 日開会されました。本展覧会はインスティトゥト・セルバンテス東京ギャラリーで 6 月 25 日まで開催されます。



「Poni」の愛称で知られる若き画家でありイラストレーターであるヒルダ・パラフォックスが、4月中旬より広島県尾道市の「Air Onomichi」スタジオでの滞在制作中に手がけた作品が展示されています。

メキシコシティ出身のヒルダ・パラフォックスは、しっかりしたタッチと大胆な色使いで、周囲を引き込み現実世界への様々な感情を呈する偉大で力強い女性を表現します。未知の世界と日本文化へのその絶え間ない探求心は、まさに日常から完全にかけて離れた世界における魅力的で豊かな旅そのものです。



展覧会では紙やキャンバスに描いたアクリル絵画のほか、墨江、陶器といった作品が展示されており、その作品ひとつひとつに彼女が日本滞在中に受けたインスピレーションが反映されています。また、尾道滞在中に地元貢献の一環として手がけた壁画の写真も展示されています。
